

「警戒レベル」って？

水害発生時には、住民の皆さんのとるべき行動が直感的に理解できるよう、気象情報が「警戒レベル1」から「警戒レベル5」までの5段階で発令されます。

このうち「警戒レベル1」と「警戒レベル2」は気象庁からの気象情報として発表されます。「警戒レベル3」から「警戒レベル5」までは市が雨の状況や河川水位などを総合的に判断して発令します。「警戒レベル3」は、高齢者や障がいのある人など避難に時間を要する人は避難を開始するように求めるもの、「警戒レベル4」は市民全員が安全な場所に避難することを求めるものとなります。



浸水への備え

最近では台風時でなくとも、短時間で大量の雨が降る「集中豪雨」が多発しています。

また、守口市の道路はほとんどがアスファルトであるため、降った雨は短時間で下水道管に流れ込みます。市内のほぼ全域に公共下水道が完備されていますが、その処理能力(下水道管の太さなど)を超える雨が発生すると、これを排水しきれない「内水浸水」が発生してしまいます。

どんなときに浸水が起きるの？

守口市のある東部大阪地域は、淀川と寝屋川、大和川に囲まれた河川より海拔が低い平野部です。雨水が自然に川に流れ込まない「内水域」ともいいます。

市では下水道管で雨水を集め、ポンプにより強制的に河川へ排水しています。集中豪雨によって下水道の排水能力を超えるような雨が降った場合には、雨水を排除することができなくなり、浸水することがあります。また、想定以上の大雨発生では河川氾濫防止のため、大阪府からの指示のもと、河川へのポンプ排水を一時的に半減することがあります(ポンプ運転調整といいます)。

大阪府も地下河川(完成までは調整池として活用)の整備を進めていますが、市でも10年に1度発生すると言われる降雨(1時間あたり54.4mm)に対応する下水道施設の整備を進めています。

浸水時に気をつけること

まずは情報収集

テレビ・ラジオ・インターネットなど、また消防団や広報車による呼びかけにも注意してください。

自主的に避難

最新の気象情報・避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

助け合って避難

避難行動に時間を要する人に声をかけるなど、隣近所で助け合って避難しましょう。

確認してから避難

避難前には、ガス栓を閉めテレビなどのスイッチを消し、電気ブレーカーを落としましょう。

歩いて避難

車での避難は浸水すると動けなくなります。基本的には徒歩で避難しましょう。

足元に注意して避難

くぼみや溝を確かめるため、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。

また、避難時は動きやすい靴を履いてください。長靴は水が入ると歩きづらく危険です。

2階以上へ避難

浸水がすでに50cmを上回っているとき(ひざ上まで浸水)は、非常に危険を伴います。自宅や高い建物の2階以上に避難し、水が引くのを待ちましょう。



平成24年8月14日豪雨時の市内の浸水状況

「命を守る」 大雨への備え

6月から10月末までは「出水期」と呼ばれ、梅雨や集中豪雨、台風などの風水害が起これやすい時期です。昨年守口市では、台風による被害はありませんでしたが、近年では全国各地で風水害が頻発し、甚大な被害が発生しています。

台風や大雨の発生を未然に防ぐことはできませんが、地震とは異なり、早めに警戒・準備しておくことは可能です。災害の被害軽減には、自らの身を自らで守る「自助」、地域で助け合う「共助」、市などの公的な機関が行う「公助」の3つが大事で、特に市民の皆さんの「自助」「共助」は命を守る上で非常に大切です。

この機会に、自らができる「備え」について考えてみませんか。

問 危機管理室 TEL 06-6992-1497

風水害が起きたらどうする？

台風の場合

台風の接近は、何日も前から繰り返しテレビなどで放送されます。また、気象庁ホームページなどでも情報が得られます。

まずは、屋外の飛散しやすいものを片付けて雨戸を閉め、外出は控えましょう。自宅でやり過ごすのが不安な場合は、風や雨が強くなる前に、あらかじめ市が開設をお知らせする避難所へ自主避難しましょう。

大規模水害の場合

長雨や台風襲来による大規模水害の恐れの際には、早めに安全な高いところに避難することが最も重要です。台風など事前準備が可能な風水害のときは、市が必ずさまざまな手段で警戒を呼びかけます。

市民の皆さんは防災情報に注意し、警戒レベル3が発令されたら、避難に時間を要する人(高齢者や障がいのある人など)はすぐに避難を開始してください。警戒レベル4が出たら全ての皆さんが避難です。このときは、指定避難所などへの避難(「水平避難」といいます)だけでなく、自宅の2階、3階など高いところへ避難(「垂直避難」といいます)することも効果的です。